

人権教室

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心



夏休み期間を利用して、三世代ふれあい交流館、船引児童館、常葉児童生活センターにおいて、人権擁護委員による「人権教室」が行われました。参加した子どもたちは、ビデオなどを視聴して、友達に対する思いやりの気持ちなど感じたことを発表しました。

人権の輪が広がっていくことを期待します。

都路町 魚つかみ大会

雨の中でも元気に魚を追って

青少年健全育成市民会議都路支部と都路公民館主催による「都路町 魚つかみ大会」が8月13日、古道プール前駐車場に仮設の池を設置して行われました。雨にもかかわらず、帰省客などたくさんの方が参加しました。子どもたちは歓声を上げながら、元気に泳ぐ魚を必死に追いかけていました。



青少年健全育成市民会議 都路・常葉支部 キャンプで思い出を

青少年健全育成市民会議の都路支部と常葉支部の合同キャンプが、8月4日と5日の2日間、いわき海浜自然の家で行われ、53人の子どもたちが参加しました。

参加者は、班に分かれて舟戸海岸で海の生き物を見つけたり、四倉海水浴場で砂の作品を作ったりしました。野外炊飯では、みんなでカレーを作っておいしく食べました。

子どもたちは2日間で交流を深め、楽しい夏の思い出ができました。



新しいエゴマ料理を試食

市民にエゴマをもっと食べてもらおうと、エゴマ料理の試食会が8月6日、都路町「よりあい処 華」で行われました。

メニューは、各国大使館でシェフを務め、市内の復興応援ボランティアで活動していた末広亮さんが考案したもので、エゴマの実を酢飯に混ぜ込み馬肉で包んだ「桜肉の棒寿司」や、「エゴマの葉と梅肉の鶏ささみ包み揚げ」など、5品が披露されました(写真右)。

試食後、「エゴマの葉を使う料理が新しい。おいしくいただけた」「市内でエゴマ料理を提供する店が増えるといい」などの意見が出ました。



みちのくマラソン タスキで絆をつなぐ



8月19日、間寛平さんなど吉本興業のお笑い芸人の皆さんが東日本大震災の被災地を走る「RUN FORWARD KANPEI みちのくマラソン」が9日目を迎え、船引運動場仮設住宅に到着しました。

仮設住宅の皆さんとカブトンが出迎える中、寛平さんとゲストランナーがゴールテープを切ると、大きな拍手と声援が送られ、寛平さんは「仮設住宅で暮らす人や沿道の人に笑顔を届けたい」と話しました。その後、寛平さんや村上ジョージさん、田村市観光大使でもある「ぺんぎんナッツ」さんなどがお笑いライブやスイカ割りをする、会場は笑いと歓声に包まれました。

うつくしまの道・サポート制度調印式

8月27日、福島県、市、田代総合区民会(常葉町)が、県道の美化活動に取り組む「うつくしまの道・サポート制度」の調印式が行われ、郡司裕次郎 会長、鈴木良治 県中建設事務所長、富塚市長が合意書に調印しました。

田代総合区民会は平成26年11月に発足し、地区内の環境美化活動を行っています。

制度の取り組みとして、田代総合区民会は県道あぶくま洞都路線の常葉町堀田字岩下から同字赤土までの総延長2.4kmで、年2回草刈りなど環境整備を行います。福島県は清掃用具を貸し出し、市は清掃活動で生じた廃棄物を処理します。



都路町 お盆野球大会 和やかな中でも戦いは熱く

田村市都路町スポーツ振興会と都路公民館主催による「第8回 お盆野球大会」が8月15日、都路運動場で行われました。お盆で帰省した人や親戚、地区などで4チームを作ってトーナメントに参加しました。和やかな雰囲気の中でも、熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

- 優勝…強梨クラブ(写真)
- 準優勝…チーム和平

